



第 17 回ベイタウン年男・年女撮影会 今年は末年 2015

佐藤幹さん



エリストにお住まいの佐藤幹さん。奥さんの貞子さんとお子さんの恒太君の 3 人とも末年というご家族です。

「今年はまずまずの年でした。来年はいろいろと環境が変わると思うので、この変化に負けなようにしたい」

飯島耕造さん



本日の最年長者の飯島耕造さん。パティオス 18 番街にお住まいで、ベイタウンには娘さんが 2 人とお孫さんが 3 人いらっしゃるそうです。「今年は波乱万丈の年。来年の抱負は『やはり健康』」だそうです。

椋山凜奈さん



海浜打瀬小 6 年生の椋山凜奈さん。同じクラスのお友達松本紗季さん（写真左）と 2 人で参加です。「今年は受験勉強で忙しくあんまり遊べなかったの、来年はたくさん遊びたい。中学生になるのが楽しみ」

小泉元貴さん



唯一の 30 代で参加の小泉元貴さん。ファーストウイングにお住まいで、娘さんとそのお友達の 5 人で撮影です。

「今年は楽しかったことがたくさんあったので、来年も何事にも楽しく取り組んでいきたい」

阿曾公子さん



打瀬子どもルーム指導員の阿曾公子さん。ルームの卒所生(左から、遠山さん、田草川さん、石森さん、藤原さん)と一緒に嬉しい！

「今年も子供たちとともに泣いたり笑ったり、楽しい一年を過ごしたい」

西井悟君



美浜打瀬小 5 年生の西井悟君(左端)。「今日は友達 3 人と来ました。今年は受験のためとても忙しい年でした。来年は受験勉強をがんばって第一志望を目指したい」

柿沼正毅さん



8 番街にお住まいの柿沼正毅さん。「今年は平々凡々な年でした。来年の抱負は飯島さんと同じく健康。娘さんがおじいちゃんの写真がベイタウンニュースに載るのを楽しみにしている」そうです。

廣野有美さん



海浜打瀬小の 5 年生の廣野有美さん(写真左から 2 人目)は友達 3 人と参加。「今年は、ハロウィンやクリスマスでホームパーティなどのイベントを企画したことが楽しかった。来年は最高学年の 6 年生。みんなのまとめ役ががんばりたい」

中学校の先生をやってみて 打瀬中 EX 講座

本紙先月号でもご紹介した打瀬中の EX 講座（「エキサイティング講座」、総合的な学習の一環）。私も講師として参加しましたので、その体験をご紹介します。準備を含めとても楽しい時間を過ごせました！毎年様々なテーマで講座が開かれているとのこと。「次は私！」と手を挙げて頂ける方がいらしゃれば、是非来年ご一緒にしましょう。【加藤】

EX 講座は、地域住民を講師に招いて、その方の持つ専門的知識・経験を学ぶ授業です。1 日 2 時間程度、2 日間にわたって行います。一つの講座当たり 25 名前後の生徒が聴講します。

私は弁護士をしておりますので、弁護士と法をテーマに話すことにしました。具体的な内容は講師に広い裁量があります。「何を伝えようか…」楽しい事前準備の始まりです。最初の「つかみ」は何にしよう。法の意義を理解してもらうためにはどんな話をしたら良いだろう。アイデアを練り、当日を迎えました。

学校の玄関では、生徒が出迎え、講師控え室まで付き添ってくれました。礼儀がしっかりしていて感心！

控え室には既に大勢の講師陣がスタンバイ。20 名はいたでしょうか、想像以上の規模に驚きます。時間になり教室へ。持参したパソコンをケーブルで大型モニタに接続して準備完了。いよいよ講座開始です。

「チーバくんのおへそで生まれました」生徒たちの視線が集まります。「写真でいうとこんな感じ（テレビには富津岬の写真）」「行ったことある人？」数名の手が上がり、笑顔が見え始めます。

公立の小中高に通ったこと、中学の頃ベイトタウンにもある某学習塾に通っていたこと、大学卒業後は某スーパーに就職して毎日魚を捌いていたこと、司法試験が泣けるほど大変だったこと。少しでも弁護士を身近に感じてもらいたくて、いろいろ話しました。

そして本題へ。初日は「法について考えてみよう！」をテーマに、なぜ法が必要か、どんな手続で作るべきか、三権分立の意義などを説明しました。なるべく生徒たちが退屈しないように、〇怪〇オッチにあやかった架空の迷惑生徒が出現した場合にどう対処するかという課題を提示して、小班に分かれて考えてもらいました。多くの班から「先生が」見張る、「先生が」個別指導するなどの提案がありました。「先生」の権威はやはり凄いようです。

2 日目は、普段どんな仕事をしているのかを紹介しました。よく

質問される「なぜ悪者の弁護をするのか」というテーマや私が多く取り扱っている交通事故に関連したテーマを取り上げ、できるだけ普段の仕事ぶりが伝わるように説明しました。

今回の講座で生徒たちに伝えたかったことは「弁護士をもっと身近な存在として感じてほしい」「一人で悩まずにその存在を思い出してほしい」ということです。

トラブルの渦中に入っていく、人に頭を下げて回って、なだめて回る…。「実際はなかなか〇ミカド弁護士のように格好よくはできないけど、とてもやりがいのある仕事だよ」ということです。

1 月に各講座を受講した生徒代表による報告会にお誘い頂きましたので、参加する予定です。判決を受ける時より緊張しているかも！



ベイトタウンのちいさな台所

先日、パティオスの 17 番街に少し変わったなお店がオープンしました。お店の名前は「UCHI with dog x およこカフェベイトタウン」（電話：043-276-1449）。今回はこちらのお店のオーナーでベイトタウン在住の料理家「佐藤ともこ」さんにお話を伺いました。

「ベイトタウンのちいさな台所」というコンセプトでベイトタウンにお住まいの方、勤務されている方のために、家庭料理と同じように安心・安全な食材を使った手作り料理のお店です。健康志向でできるだけ添加物を使わないようにしているそうです。

メニューは日替わりで、和食と洋食があり、和食はご飯とお味噌汁、漬け物を基本に、小鉢が選べます。夜はカフェよりどちらかというとデリの要素が強く、夕食のおかず困った時に単品で購入可能です。昔のお豆腐屋さんのようにエコのため容器を持参することを推奨しています。

お店はそれほど大きくはなく、こじんまりとして落ち着いた雰囲気です。また、お店に入るとすぐに気が付きますが、壁がなんと黒板になっています。ここは、メニューを掲げるのももちろん、子供達のイベントでこちらに落書きをするといった自由な使い方もできます。

さらにこちらのお店独自のアピールポイ

ントは単に料理を提供する従来のお店とはちょっと違った「シェア・カフェ」というしくみをとっていることです。「カーシェア」はベイトタウン内にも利用できる場所がありみなさんもおなじみかもしれませんが、カフェのシェアというのは珍しいでしょう。このシステムでは、曜日や時間帯によってオーナーが変わります。料理のタイプも変化があるので、これもバリエーションが広がり面白いですね。

また、例えば、皆さんのなかには「お店をやってみたい。でも設備や準備が大変そう」と尻込みをしている方がいるかもしれません。そんな時、こちらのお店では通常営業とは別に時間制でお店を借りることができます。このスタイルであればお店の設営に必要な色々な準備の手間が省けて「自分のカフェ」実現の可能性が高くなりますね。

例えば、現在は夕食は 20 時で終了ですが、その後を引き継いで夜のカフェ営業も可能です。また、土日は現在は基本的に営業していないので、料理教室やイベントとしても利用することもできます。

加えて、お弁当の配達、パーティのケータリングも承っているのです、

予算や内容も気軽に相談に応じてもらえるそうです。

現在、佐藤さんともうお一人の方で運営していますが、今後は色々な発展を考えているので、お食事に行くだけでなく、こういったお店運営に興味のある方はお話を聞いてみてはいかがでしょうか？【梶山】



「防災は隣同士の声かけから」CPW のとりくみ

昨年12月初旬にセントラルパークウエスト（CPW）A棟で班別の防災説明会がありました。6年ぶりに改定されたCPWの防災マニュアルの綿密な最新版を知っていた私は、防災体制とマニュアルの内容はいい記事になるだろうと考えていました。

説明会の日程を伺うと「3回あるから都合のいい時にどうぞ」とのこと。3回も？

そして手にしたプリントには、「防災委員会・班別説明会&懇親会」のタイトル。懇親会？どうも自分の予想外の展開です。

「震災直後は消防車や救急車に頼ることはできず、住民同士の助け合いが不可欠。マニュアルにある情報や知識も大事ですが、日頃から培う住民の助け合いの意識やコミュニケーションがもっと大切です。ご近所付き合いが苦手な人でも、お互いの命を守るためには引っ込んではいられません。そのために説明会と懇親会を班ごとに開き、人間関係を作るのです」とマニュアル企画担当の阿曾さんは説明します。防災・避難用品を揃えて緊急時の指揮体制を作ることが防災対策、という考えとは方向が違うようです。

CPWのA棟は、エレベータ1基を各階2世帯が利用する構造を活かし、（日常顔を合わせる）エレベータごとの3班編成です。

私がお邪魔した説明会は25世帯中13世帯が集まりました。第一部は各世帯代表者対象で、活動報告や備品やマニュアルの説明など。そして第二部はキッチンハウスに場を移して家族で参加。コーヒーやサンドイッチ（別の班ではアルコールも！）を囲んで懇親会です。最初は硬かった雰囲気も、救助用品（今回は布担架とカセットコンロのガスによる発電機）の体験をしているうちに和やかな雰囲気になり、あちらこちらで談笑の輪ができていました。子どもたちも伸び伸び遊んでいます。

効率という点から考えると3回の説明会は棟全体1回で済ませればラクです。懇親会に至っては飲み物食べ物の支度も片付けもひと手間。しかしここで協力して活動すれば、もしもの時のときにもチームワークがすぐ発揮できそうです。

『3.11』で家具・家財に大きな被害があった中、お隣ご近所からお声掛け頂き、とても心強かった。もし再び巨大地震があったら自分もできるだけお声掛けしたい」という住民の声を伺いました。声を掛けるといことがどれだけ人を支えるかよくわかります。その基盤作りは日頃人間関係を地道に紡いでいくことが唯一の方法なのかもしれません。

先日のこと、自分の住むマンションのエレベータでお隣のご夫婦と乗り合わせました。腕にはそれぞれ1匹ずつの犬が。「え？2匹だったのですか？」と私は驚いて尋ねてしまいました。犬種が同じということもあり、10年近くずっと1匹だと思っていたのです。その時は、「集合住宅のお付き合いってこんなものよね」と思っただけでした。でも、この考えを転換したほうがいいのかも、と今思い始めています。

緊急対応マニュアルや避難用品を充実させることは当然大切です。しかしそれらを本当に活かして命を守っていくには、声を掛け合う結びつきを作っていく普段の努力が欠かせないということを今回教えていただきました。【小原】



布担架の体験。子どもも遊び感覚で楽しむ。

20周年を演出する 打瀬中創立20周年記念実行委員会

今ベイトウンでは20周年の記念事業や式典があちこちで行われている。10周年のときにはこれほどの盛り上がりはなかったので、この20周年はまさにちょっとしたブームとなっている。

実は今年が20周年ということを経験に教えてくれたのは「打瀬中学校創立20周年記念事業実行委員会」が今年5月に発行した「20周年だより第1号」だった。このブームの火付け役となった周年だよりは、その後も合計3度発行され、年度内には58ページ、オールカラーの記念誌も発行される。学校の保護者会としては異例といえるほどの熱意で活動する実行委員会を取材した。【松村】

取材に伺ったのは12月18日午後、打瀬中2階にある「パティオスの会」の部屋だった。パティオスの会は打瀬中学校の保護者会。つまりこの20周年だよりや式典の主催者になる。最初この実行委員会のメンバーはパティオスの会の常任役員かと思っていたのだが、そうではなかった。メンバーは6人の打瀬中学校生徒のお母さんたち。パティオスの会に所属はするが、もともと役員ではなかった。彼女たちは昨年の2013年6月にパティオスの会から「運営サポーター大募集」が打瀬中のすべての保護者に出され、それに応募した人達だ。

最初はひとり（Nさん。当時1年生のお母さん）だけが応募し、その後友達やパティオスの会役員のつながりで6人が9月に初代会、プロジェクトチームをつくり2014年1月に実行委員会が正式発足して活動をはじめた。

最初に手を挙げたNさんによると、「気軽な気持ちで応募しました。やってみるとこんなに大変なことだと思わなかった。パ

ソコンの使い方もろくにできなかったのが最初はみんなと連絡を取り合うのも大変でした。でもいいお友達もできてやってよかった」そうだ。Nさんのお話のとおりの仕事はたしかに大変だったようだ。これまでほぼ毎月実行委員会が開かれ、さらに「周年だより」発行や式典の前にはその準備でほぼ毎週のように集まり、毎回遅くまで学校内で準備をしたそうだ。これだけ「のめり込んだ」のは20周年ということもあるが、それ以上に新しい友達とひとつのことを自分たちのアイデアでやり遂げる刺激があったのだろう。

例えば「周年だより」の発行というアイデア。10周年の時にもいろいろなお知らせはあったが、年間3回ものお知らせを発行し、その都度先生や関係者にインタビューして周年の意義や感想を掲載したのは初めてだ。周年だよりの発行は6人で集まって考えるうちに、保護者や地域にもっと20周年をアピール

し、情報を発信したいと考え、全国の小中学校の行事内容などをインターネットで調べて考え出したのだという。

実行委員6人の夢はさらに膨らむ。例えばボツ企画になったが「ギネスに挑戦。紙帽子をかぶって航空写真」という案。これは2013年に同じ千葉県内の小学校で2065人の記録があり、それを新聞で見提提案。残念ながら「すぐに破られる」などの理由で却下となった。小学校、地域と一緒にやれば生徒数だけで2000人近くになるので軽く達成できたかも知れない。

これだけ熱く取り組んだ実行委員会だが、実は今月には解散する。年度内に記念誌の発行があり、現在はその印刷の最終校正のために忙しく活動しているがその作業も年内には終わり、1月にはこの実行委員会総会で実行委員会の解散することが決まっているそうだ。委員会のみなさんご苦労様。20周年実行委員会の活動自体がベイトウンの歴史です。



アバンセの特大イルミネーション

昨年もベイタウンでは X'mas イルミネーションがあちこちで飾られました。ベイタウンの X'mas イルミネーションでこれまで最大のものといえば、10 年ほど前に 2 番街で番街の壁面全体を使った巨大なモミの木のイルミネーションがあり、それが最大のものだったと思います。6 階建ての壁面全部を使った巨大イルミネーションに度肝を抜かれたのを覚えています。その後、マンション全体を使った大きなイルミネーションは見なくなりましたが、ことしはパティオス・アバンセで更に巨大なイルミネーションが現れました。それが写真。

中庭に面した壁面を使っているの、外の通りからは見えづらく気が付かなかった人も多いと思うのですが、今話題の青色発光 LED を使ったサンタクロースには和ませられます。壁面全体を使った装飾はイルミネーションの数も大変ですが、装飾の作業も大変だったと思います。ご苦労様でした。



打瀬ベイバスターズが部員大募集！！

打瀬地区唯一の少年野球チーム

打瀬ベイバスターズが部員大募集です！

打瀬三丁目公園グラウンド、海浜打瀬小学校、美浜打瀬小学校などの、幕張ベイタウン内グラウンドで活動しております。

2015年で創部13年目を迎えます。まだまだ歴史の浅いチームですが、近年、目覚ましい成績をあげております。

近隣の皆さん、是非我がチームに入部し、共に伝統を作っていきましょう！

1月24日(土)・1月25日(日)に体験会を実施します。

お気軽にお問い合わせください！

＊お問い合わせ先

090-1600-9075(吉田)

Webサイト:<http://baybusters.89dream.jp>



ベイタウンニュースの配布にご協力ください

ベイタウンニュースは毎月第1土曜日に私たち住民のボランティアの手で行っています。しかし新しい番街が増え、配布していただくサポーターが足りなくなっています。お時間のある方でベイタウンニュースの配布にご協力いただける方はご連絡をください。

毎月確実に参加できなくても結構です。また直接取りに来られない方には宅配ボックスを使ってお届けすることもできます。どうぞよろしくお願いします。

TEL : 043-211-6853、E-mail : mazmbtn@gmail.com (松村)

1月のコア・イベント

1月17日(土) わくわくおはなし会 1月の常設おはなし会

わくわくおはなし会 1月の常設おはなし会

日時：1月17日 第3土曜日 10:30から

場所：ベイタウン・コア講習室

予約不要 途中入場できます。

今月もわくわくするお話を用意しておまちしています。

年齢制限はありません。絵本の好きな大人も子どももせひきてね！

予約は不要です。読み手も募集中、見学大歓迎

ブログ更新中・見てね** <http://waku.makusta.jp/> **

お問合せ先：井上 (043-211-0188)

1月25日(土) 寺子屋工作ランド

Myはしをつくらう (じぶんだけのおはしを竹でつくります)

日時：1月24日 第4土曜日 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア工芸室

持ってくるもの：小刀(あれば) 古タオル1枚(ひざあて) ごみぶくろ、てぶくろ

参加費：50円(保険料)

第134回ファツィオリの会(コア文化振興基金後援事業)

第134回ファツィオリの会

日時：1月25日(日) 9:30～11:30

場所：ベイタウン・コア音楽ホール

フルコンサートピアノ「ファツィオリ」の演奏や他の楽器の演奏、声楽や合唱などに使って頂くことが出来ます。非公開でのご利用ご希望のときは、ご相談下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。聴きにきて頂くのは、自由です。

最新の情報は <http://www.baytown.ne.jp/core/> をご覧ください。

申込締切：1月18日(日)

申込先：TEL & FAX 211-0350(須原)まで

コア・チェンバーシンガーズ 第8回定期演奏会

ベイタウンの混声合唱団コア・チェンバーシンガーズが第8回の定期演奏会を開きます。たくさんの方のおいでをお待ちしています。

日時：2015年2月8日(日) 午後1:30開場、2:00開演

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

プログラム：

「ぜんぶ」(相澤直人作曲)

「SORA」、「心の四季より」「風が」

「終わりのない海」(松下耕作曲)

「Cantate Domino」(松下耕作曲)

ほか

